

②学習指導案例

第○学年 ○○科学習指導案例（細案）

日 時 令和○年○月○日（○）○校時
対 象 ○年○組 ○名
指導者 ○○ ○○

1 単元（題材）名 「○○○○○○○○○○」（本時○／○）

2 単元（題材）について

（1）教材観

単元（題材）の学習内容をどのように捉えているのか、単元（題材）設定の理由を記述する。
・学習指導要領の目標や内容に基づいた教材の解釈と指導内容の具体
・学習内容の系統性（前後する学年の学習内容との関わり） など

（2）児童生徒観

単元（題材）に関する児童生徒の実態について記述する。
・本単元の学習に関連した観点から集団（学級、習熟度別等）の学習状況
・学習内容に関する既習経験、興味・関心及び思考傾向
・各種テスト、児童生徒アンケートの分析をした内容 など

（3）指導観

単元（題材）の学習内容について、児童生徒の実態を踏まえ、どのように指導するのかを記述する。
・単元全体における指導上の工夫
・予想される児童生徒のつまずきへの対策や能力及び適性などへの配慮
・本時における児童生徒の予想されるつまずきとその対策 など

3 単元（題材）指導計画

（1）単元（題材）の目標

・学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて記述する。
・児童生徒の実態、前単元（題材）までの学習状況等を踏まえて記述する。

（2）単元（題材）の評価規準

単元（題材）の目標に応じて観点ごとに単元の評価規準を作成する。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|----------------|
| <知識>……………している。 | ……………している。 | ……………しようとしている。 |
| <技能>……………している。 | 各教科等の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所(R2)）を参考とする。 | |

(3) 指導と評価の計画

「指導と評価の計画」の基本的な様式は、各教科等において異なるため、作成する際は各教科等の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(R2 国立教育政策研究所)を参考とする。

| 時 | ねらい・学習活動 | 評価規準 (評価方法) | | |
|---|----------|-------------|-------|----|
| | | 知・技 | 思・判・表 | 態度 |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

4 本時の指導

(1) ねらい

単元(題材)の目標から導いた本時のねらいであり、学習評価の観点を考慮しながら指導の意図を記述する。

(2) 学習過程

「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくりのためには、問題解決的な学習を重視した指導方法の工夫が重要になります。例えば、児童生徒にとって必然性のある課題を設定することや、児童生徒に自身の考えをもたせる工夫をするなど、本時のねらいを達成するために、児童生徒がどのように活動し、どのような指導の手立てをとるのかを明らかにすることが大切です。※問題解決的な学習を重視した指導方法の工夫については、p10「授業の充実 実践事項2(1)」を参照

| 段階 | 学習活動 (○主な発問 ・指示) | 予想される児童生徒の反応 | ・指導上の留意点 ※評価 |
|----------|--|--------------|-----------------|
| 導入 ○分 | 学習課題 | | |
| 展開 ○分 | <p>学習過程には様々な項目や形式があるため、ここでは一般的なものを例示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段階…導入・展開・終末(整理)など展開の過程を区分して記述する。 ・ 学習活動…学習の流れが分かるように、学習課題、まとめ、学習形態などを記述する。その際、教師の発問や指示も併せて記述する。 ・ 予想される児童生徒の反応…学習の流れに沿って、予想される児童生徒の反応を具体的に記述する。 ・ 指導上の留意点…予想されるつまづき(評価規準に達しないことが予想される児童生徒)への手立てなど配慮事項を記述する。 ・ 評価…評価場面を設定し、評価の観点や評価方法などを記述する。 | | |

| | | | |
|------------------|--|--|--|
| 終 末 ○ 分 | | | |
|------------------|--|--|--|

(3) 評価

児童生徒の学習状況を把握する視点であり、本時のねらいがおおむね達成された児童生徒の姿について記述する。また、指導と評価の計画に沿って、1観点、多くて2観点到しぼって記述する。

- ・単元（題材）の評価規準との整合性に留意してください。
- ・「おおむね満足できる」状況（B）を具体的に想定し、授業で適切に見取り、授業改善に生かすようにしてください。

〈参考〉「おおむね満足できる」状況（B）の具体的な設定例
※「単元の評価規準」との関連に留意してください。

小学校第5学年国語 「読書に関する情報を読んで活用しよう」

（参考）単元の評価規準：文章の構成について理解している。【知識・技能】

本時の評価 新聞記事の「逆三角形の構成」について理解している。

（知識・技能 ワークシートから）

B：「見出し」「リード文」「本文」の構成を理解し、図に正しく書いている。

小学校第4学年算数 「変わりかた」

（参考）単元の評価規準：伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。また、表や式を用いて変化や対応の特徴について考察している。【思考・判断・表現】

本時の評価 B：伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴について考察して問題解決している。

（思考・判断・表現 適用問題から）

中学校第3学年保健体育 「G ダンス」

（参考）単元の評価規準：一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

本時の評価 B：共生の意義を理解し、自己と他者の違いを受け入れようとしている。

（主体的に学習に取り組む態度 観察から）

(4) 板書計画

学習の過程と内容が分かるように構造化して示す。